

# 第2波に備える医療体制の充実

## 1 検査体制の充実

- ◎ 複数の検査手段により飛躍的に増加する検査へ対応する体制を整備
- ◎ 医療機関と連携して院内感染防止対策を強化
  - ①各医療圏での検査充実
    - 感染症指定医療機関・協力病院にもPCR検査機器導入
    - 医療現場における迅速かつ多数の検査体制を充実し、圏域内での検査体制を整備
  - ②衛生環境研究所での検査充実
    - 行政検査に加えて、幅広く地域が必要とする検査等も実施
  - ③民間検査機関の活用
    - 分娩前検査、手術前検査など緊急性を要しない検査について、民間検査機関を活用

## 2 新型コロナウイルス対策専門家チームの設置

- ◎ **大学教授、鳥取県感染制御地域支援ネットワーク** (感染制御医師、感染管理認定看護師等) 等で構成
  - ・ 社会福祉施設 (高齢者・障がい児者等) への感染防止対策に対する相談支援
  - ・ 戦略的サーベイランス、リスク評価の助言
  - ・ 新型インフル特措法第24条第9項に基づく措置等の発動基準の検討 など

## 3 入院医療体制の充実

- ①病床322床 (重症者用48床) の増加
  - ・ 危険手当、感染者受入給付金、空床補償による支援
  - ・ 医療機関の実情に応じた施設整備 (動線確保、陰圧室整備、病棟間仕切り設置など) の支援
- ②宿泊療養施設 約700室確保
  - ・ 医師会、看護協会と連携し充実した医療を提供
  - ・ 病院協会等への協力依頼による更なる人材確保